

- 1・ハード対策の主な取組 ■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報を提供するためのシステム構築

令和3年6月17日～

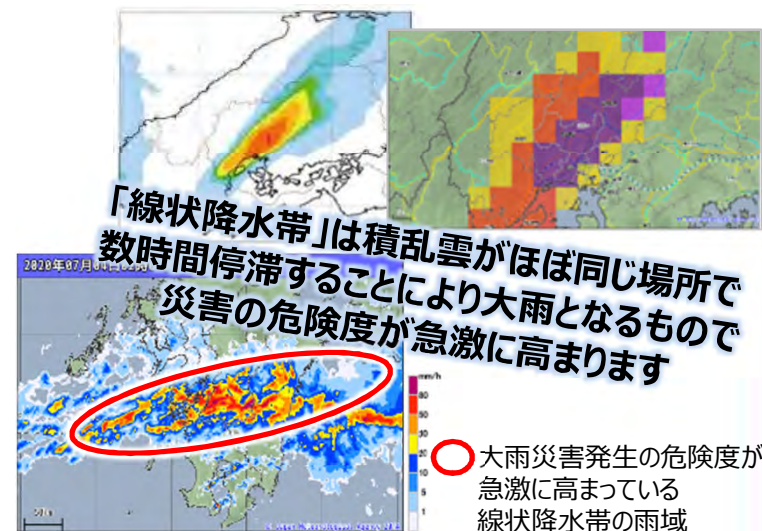
■「顕著な大雨に関する情報」の提供

「線状降水帯」による大雨の危機感をお伝えします

大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。情報は、以下の内容で発表されます。

〇〇地方、〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。

この情報が発表されたら、適切な避難行動をとってください



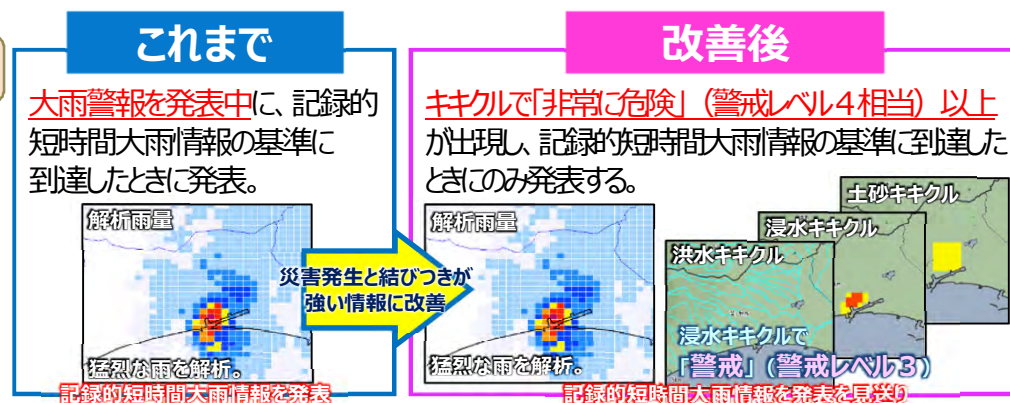
令和3年6月8日～

■記録的短時間大雨情報の改善

記録的短時間大雨情報は、大雨警報発表中に、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水及び中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることを伝えることで、どこで災害の危険度が高まっているかを「キキクル」で確認し、自主的な安全確保の判断を促すもの。

災害発生の危険度が急激に上昇し、
速やかに安全確保が

必要な状況となっていることが伝わるよう改善



令和3年度における防災・減災に関する取組

1・ハード対策の主な取組 ■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

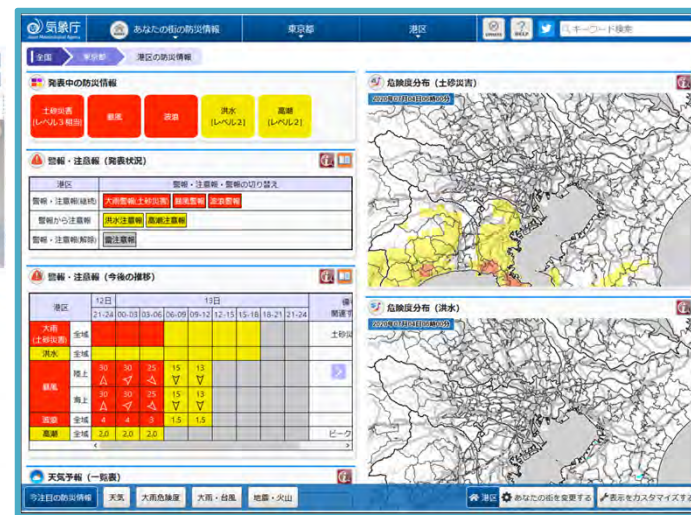
①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報を提供するためのシステム構築

令和3年2月24日～

■ 気象庁ホームページの改善



防災担当者が
利用しやすいよう改善



【主な変更点】

- 指定した区市町村に発表されている大雨や大雪、地震・火山といった分野ごとの防災情報を、**一つのページで閲覧可能**に改修
- 防災担当者等が利用目的に応じて素早く必要な情報を閲覧できるよう、利用者側で一つのページに表示する情報を選択する機能を付加。
- 主要なコンテンツは、**スマートフォンでの表示に適したものに改修**。
- トップページを情報カテゴリに分け見やすく改善。
- 各気象台のホームページもリニューアルし、地域に根ざした情報を発信。



令和3年度における減災に関する取組事例

1 令和3年度稚内市職員防災訓練・研修	
実施日	令和3年8月2日
場所	稚内市みどりスポーツパーク
参加人数	約60名
目的	コロナ禍における避難所の開設・運営方法の確認
訓練内容	受付準備、避難スペースの確保、パーテーション等の配置、発熱者の導線確保、避難所運営会議のデモンストレーション 等



2 出前講座	
対象者	町内会、学校、団体等
講座内容	防災講話、避難訓練 等
実施回数	10回
参加人数	約400人



令和3年度減災に関する取組事例

「中頓別小学校一日防災学校の開催」

稚内開発建設部、北海道、稚内气象台、中頓別消防支署協力のもと防災学校を実施。

- ・低学年向けに、「防災かるた」を消防士が解説を交えて実施。



- ・3年生は、稚内開発建設部によるドローンの展示や写真撮影および車両展示、消防署によるタンク車、救急車の展示体験を実施。
- ・4年生は、ハザードマップを活用した、北海道防災推進管による防災講話。



- ・ 5年生は、気象台による講話の実施。
- ・ 6年生は、北海道防災推進管による、避難所設置体験。



- ・ 消防署による自然災害を想定した避難訓練及び講和





「中頓別小学校、町内の備蓄品について学ぶ、社会見学」

中頓別町の備蓄状況、備蓄食品試食、エアベッド・電動トイレ・パーテーションの設置体験を実施



「地震対応訓練」

緊急地震速報訓練に合わせた、シェイクアウト訓練の実施。



「水囊、排水ポンプの導入」

水囊：15m×0.5 3本

排水ポンプ：吐出し量 1.2 m³/min



・その他職員の防災教育としてWeb研修会への参加、電動トイレの取り扱い、移動系防災無線機の取り扱いなどを実施。